



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀
四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0263-25-9081

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	55,255	△2.7	4,970	△41.2	5,636	△44.9	4,270	△47.0
30年3月期第3四半期	56,790	4.0	8,453	9.2	10,229	14.7	8,052	14.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △321百万円(-%) 30年3月期第3四半期 21,118百万円(407.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	91.41	—
30年3月期第3四半期	166.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	201,913	173,481	85.7	3,704.53
30年3月期	210,821	176,092	83.3	3,761.03

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 173,062百万円 30年3月期 175,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
31年3月期	—	25.00	—		
31年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,700	△1.8	6,400	△35.3	7,400	△35.2	5,500	△39.2	117.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	51,811,185株	30年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	5,094,806株	30年3月期	5,094,713株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	46,716,414株	30年3月期3Q	48,316,848株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
(1) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件の見直しや後発品への置き換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られるものの、低調な個人消費を主要因として、景気の先行き不透明感が払拭できず、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	増減率(%)
売上高(百万円)	56,790	55,255	△2.7
営業利益(百万円)	8,453	4,970	△41.2
経常利益(百万円)	10,229	5,636	△44.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	8,052	4,270	△47.0

・売上高(医薬品事業)の状況

医薬品事業の売上高は、476億7千1百万円(前年同期比4.3%減)となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」、潰瘍性大腸炎治療薬「レクタブル2mg注腸フォーム14回」などの売上が増加いたしました一方、昨年4月に実施されました薬価改定の影響や技術料売上が減少いたしましたことなどにより減収となりました。なお、杏林製薬株式会社と共同開発を行いました過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、当社が開発を行いました高リン血症治療薬「ピートル顆粒分包」(剤形追加)をそれぞれ昨年11月に新発売いたしました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン(一般名、日本製品名ユリーフ)の欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社(イタリア)では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

なお、昨年8月に、当社の許諾に基づき第一三共エスファ株式会社が製造販売承認を取得いたしましたユリーフ錠及びユリーフOD錠のオーソライズド・ジェネリック(以下、ユリーフAG)は同年12月に薬価基準収載となりました。ユリーフAGは、当社が製造し、第一三共エスファ株式会社が本年3月に発売を予定しております。

・売上高(その他の事業)の状況

その他の事業の売上高は、75億8千4百万円(前年同期比9.0%増)となりました。情報サービス業で減収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして増収となりました。

・利益の状況

利益面では、減収及び売上原価率の上昇に加え、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

・研究開発の状況

昨年9月に、持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ(一般名)のバイオ後続品JR-131(開発番号)について当社との共同開発先でありますJCRファーマ株式会社より承認申請が行われました。一昨年6月に承認申請を一旦取り下げました糖尿病治療薬「グルベス配合錠」の剤形追加(口腔内崩壊錠)につきましては、追加試験が終了したことを受け、改めて承認申請を行いました。また、昨年10月には、ライジェルファーマシューティカルズ社(アメリカ)との間で低分子チロシンキナーゼ阻害剤R788(開発番号、一般名:ホスタマチニブ)につきまして、日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました。なお、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373(開発番号、一般名:ロバチレリン)につきましては、第Ⅲ相臨床試験において、主要評価項目である運動失調を評価するSARA合計スコアの変化量について、プラセボと比べて統計学的に有意な改善が認められなかったことから、現在、これまでの試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,019億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億7百万円減少いたしました。流動資産は受取手形及び売掛金が増加いたしました。現金及び預金、たな卸資産などが減少いたしましたことなどにより、19億8千6百万円減少し961億7千6百万円となりました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、69億2千万円減少し1,057億3千7百万円となりました。

・負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債は284億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億9千6百万円減少いたしました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税などが減少いたしましたことなどにより、39億8千2百万円減少し134億6千5百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより23億1千3百万円減少し、149億6千7百万円となりました。

・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,734億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億1千1百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少いたしましたことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.3%から85.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年11月6日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,371	23,465
受取手形及び売掛金	28,873	29,735
有価証券	23,288	23,039
商品及び製品	4,933	5,329
仕掛品	1,110	1,333
原材料及び貯蔵品	9,889	7,878
その他	5,698	5,396
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	98,163	96,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,489	38,668
減価償却累計額	△28,030	△28,580
建物及び構築物（純額）	10,458	10,088
土地	12,913	12,716
建設仮勘定	19	0
その他	15,703	16,013
減価償却累計額	△12,698	△13,338
その他（純額）	3,005	2,674
有形固定資産合計	26,396	25,480
無形固定資産		
投資その他の資産	1,716	1,520
投資その他の資産		
投資有価証券	81,194	74,999
繰延税金資産	670	532
その他	2,733	3,255
貸倒引当金	△54	△50
投資その他の資産合計	84,545	78,736
固定資産合計	112,658	105,737
資産合計	210,821	201,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,894	4,258
短期借入金	1,757	1,750
未払法人税等	2,375	12
賞与引当金	2,225	896
その他の引当金	645	798
その他	5,550	5,749
流動負債合計	17,448	13,465
固定負債		
長期借入金	1,876	1,891
繰延税金負債	9,935	8,031
役員退職慰労引当金	151	153
退職給付に係る負債	4,623	4,226
資産除去債務	114	116
その他	577	546
固定負債合計	17,280	14,967
負債合計	34,728	28,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	102,834	104,815
自己株式	△11,607	△11,607
株主資本合計	139,809	141,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,752	32,002
退職給付に係る調整累計額	△859	△730
その他の包括利益累計額合計	35,892	31,271
非支配株主持分	390	419
純資産合計	176,092	173,481
負債純資産合計	210,821	201,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	56,790	55,255
売上原価	19,345	20,171
売上総利益	37,444	35,084
返品調整引当金戻入額	11	22
返品調整引当金繰入額	20	18
差引売上総利益	37,435	35,088
販売費及び一般管理費	28,981	30,118
営業利益	8,453	4,970
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	919	982
有価証券評価益	862	—
その他	48	59
営業外収益合計	1,853	1,062
営業外費用		
支払利息	17	17
有価証券評価損	—	318
為替差損	54	46
その他	5	13
営業外費用合計	77	396
経常利益	10,229	5,636
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	319	2
特別利益合計	319	3
特別損失		
固定資産処分損	14	3
減損損失	—	49
特別損失合計	14	52
税金等調整前四半期純利益	10,533	5,587
法人税、住民税及び事業税	2,634	1,079
法人税等調整額	△180	212
法人税等合計	2,453	1,292
四半期純利益	8,080	4,295
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,052	4,270

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	8,080	4,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,827	△4,749
退職給付に係る調整額	211	132
その他の包括利益合計	13,038	△4,617
四半期包括利益	21,118	△321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,086	△350
非支配株主に係る四半期包括利益	32	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	49,831	49,831	6,959	56,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,680	3,680
計	49,831	49,831	10,640	60,471
セグメント利益	8,020	8,020	416	8,437

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,020
「その他」の区分の利益	416
セグメント間取引消去	45
固定資産の調整額	△31
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	8,453

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	47,671	47,671	7,584	55,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,132	3,132
計	47,671	47,671	10,716	58,388
セグメント利益	4,525	4,525	367	4,893

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,525
「その他」の区分の利益	367
セグメント間取引消去	44
固定資産の調整額	73
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の営業利益	4,970

3. その他

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
泌尿器科用薬剤	13,573	23.9	15,116	27.4	1,542	11.4
腎・透析科用薬剤	8,696	15.3	9,144	16.5	447	5.1
代謝内分泌科用薬剤	7,872	13.9	6,202	11.2	△1,670	△21.2
産婦人科用薬剤	2,152	3.8	1,483	2.7	△669	△31.1
眼科用薬剤	935	1.6	771	1.4	△164	△17.6
その他の薬剤	8,248	14.5	7,542	13.6	△706	△8.6
ヘルスケア食品	2,931	5.2	2,957	5.4	26	0.9
その他	5,418	9.5	4,453	8.1	△965	△17.8
報告セグメント計	49,831	87.7	47,671	86.3	△2,159	△4.3
その他の事業	6,959	12.3	7,584	13.7	624	9.0
合計	56,790	100.0	55,255	100.0	△1,534	△2.7
(うち輸出高)	(6,371)	(11.2)	(4,890)	(8.8)	(△1,481)	(△23.3)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。